

Course Code	5111010	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	民事法の基層と現代的課題				
Faculties	小粥 太郎				
Course Objectives/Overview	<p>公共政策大学院の学生に民法を学ぶ意味はあるのか。あるとすれば、それはどのような内容となるか。</p> <p>受講者が、以上の問いに対する一応の解答を考え出すことが、この授業の目的となります。</p>				

Course Code	5111020	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	公法の基層と現代的課題				
Faculties	寺田 麻佑／山羽 祥貴				
Course Objectives/Overview	<p>法学未修者のみならず、学部で公法を一通り勉強した学生であっても、公法の全体を広い視野からもう一度理解し直したい者をも歓迎する。前半は山羽（憲法）が担当する。国家や社会の様々な制度のあり方について構想する際に必要となる憲法学の基本的な考え方や知識について講義する。現代社会において憲法が特に重要または興味深い意義をもつテーマを扱う。後半は寺田（行政法）が担当する。公共政策の良き担い手や発案者となることができるよう、「行政を動かし、コントロールして政策を実現するための法」としての行政法を概観する。とりわけ、法執行過程の全体を手続として捉えることができるようになることを目標とする。</p>				

Course Code	5111040	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	行政組織法				
Faculties	山本 隆司／山崎 重孝				
Course Objectives/Overview	<p>わが国の中央政府の構造、組織原理、その運用の実態について国会との関係を含め講義を行う。憲法、行政法の知識を基礎として、実際の政府がどのように運用されているか、その合理性は何かについて受講者とともに考えていく。講義を主に担当する山崎は、2021年まで内閣府、内閣官房、総務省、自治省や地方自治体での勤務経験を有する。内閣府事務次官、皇位継承式典事務局長、内閣総務官、内閣人事局人事政策統括官、総務省自治行政局長などの職を経験しており、これに基づいて、政府の実態についての講義を行う。</p> <p>法的な考察を基礎とするが、憲法、行政法にとどまらず、政治学、行政学の分野についても波及する講義とする。特に内閣、内閣官房、内閣府の構造、総合調整の在り方、各府省の分担管理原則についてつまびらかにすることを目的とする。この関連において国会についてもその運営の実態について可視化できるものを可視化する。</p> <p>中央政府がどのようなタイミングでどのようなリズムで動いているかをわかりやすく講義するため、その1年の動きをたどることと</p>				

	し、これによって行政組織法の運用が理解できるようにすることを目標とする。
--	--------------------------------------

Course Code	5111050	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	財政法				
Faculties	神山 弘行				
Course Objectives/Overview	<p>日本の財政はコロナ禍において悪化の一途をたどっている。また、アメリカを始め諸外国では格差の拡大や急激なインフレーションが社会的課題となっている。</p> <p>本講義の目標は次の3点にある。第1の目標は、日本の財政法の法的構造について、比較法の観点も踏まえつつ理解を深めることである。第2の目標は、Law & Economics や Law & Finance の視点から法制度について理解の更新を行う基礎的素養を身につけることである。本講義では、Law & Economic という分析手法をもちいつつ、財政法という素材を料理してみることになる。第3の目標は、財政政策と金融政策の関係を踏まえつつ、現代的課題について考察を加えるための基礎的視座を提供することである。</p>				

Course Code	5111060	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	地方自治法				
Faculties	太田 匡彦				
Course Objectives/Overview	地方自治に関する法制度を把握し、その立法論・解釈論上の問題点を検討する。				

Course Code	5111070	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	地方財政・租税論				
Faculties	増井 良啓				
Course Objectives/Overview	このゼミは、国際課税の基本的な枠組みについてじっくり考え、議論することを目標とします。また、政府間関係という視点から、地方政府の直面する問題にも触れます。				

Course Code	5111080	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	租税政策				
Faculties	増井 良啓				
Course Objectives/Overview	少子高齢化やデジタル化、グローバル化により、日本の税制には構造的な進化が求められています。さらに近年、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて財政赤字が拡大し、税制の役割はますます重要になっ				

	ています。そこでこのゼミでは、日本の税制をいかに設計すべきかについて、基本的なものの見方を身につけることを目標とします。
--	--

Course Code	5111090	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	立法学				
Faculties	伊藤 和子				
Course Objectives/Overview	<p>大学における法学教育は、実定法の解釈学を中心としたものであるが、本講義では、実定法の制定がどのように行われているかについて、立法過程、立法政策、立法技術等の視点から多角的に概説する。経済社会に生起する諸問題の解決に向けて、一定の政策目標を最も適切な形で実定法に組み込むための実践的な手法を学ぶことは、公共政策を専攻する者にとって有益なものと考えられる。</p> <p>講義に当たっては、進行中の事案も含め実際の立案事例を紹介するとともに、可能であれば国会見学（講義外・任意参加）の機会を設けるなど、立法という営為をリアルかつアクティブなものと感じられるように心がけたい。</p>				

Course Code	5111110	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	刑事政策				
Faculties	川出 敏裕				
Course Objectives/Overview	現在の刑事政策に関わる様々なテーマにつき、その問題状況を把握するとともに、あるべき解決策を探ることを目的とする。				

Course Code	5111120	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	知的財産政策				
Faculties	加藤 浩				
Course Objectives/Overview	<p>知的財産権とは、特許権、商標権、意匠権、著作権などの総称であり、近年、国家政策としての重要性が高まっている。本講義では、これらの知的財産権を対象とする知的財産政策について、基礎理論を整理した上で、知的財産政策の経緯と現状について解説し、今後の政策課題について考察することを講義のねらいとする。講義では、第一に、知的財産分野の主要なテーマごとに、知的財産政策について講義を行う。例えば、企業・大学における知的財産戦略、イノベーション政策、秘密情報管理、安全保障などのテーマにおける政策課題について考察する。第二に、文化政策や地域政策における知的財産政策の現状と課題について解説し、クールジャパン戦略（アニメ・マンガ、海賊版・模倣品）についても考察する。また、文化多様性・生物多様性と知的財産政策との関連性についても考察する。第三に、グローバルな視点から、知的財産政策について講義</p>				

	<p>を行う。例えば、途上国に対する開発支援や環境保全における知的財産政策の役割について考察する。また、人権保護の観点を含めて、医薬品行政・医療行政と知的財産政策の在り方について考察する。受講生として、公共政策に関心のある文科系の学生・社会人だけでなく、技術系の学生・社会人も想定し、最近のトピックス（SDGs、オープンイノベーション、AI（人工知能）、ブランド戦略、安全保障など）も適宜取りあげていく予定である。講師の意図としては、知的財産法制・政策がどうなっているかより、なぜそうなっているかを考えることに主眼を置いた講義を進めることとしたい。教科書、参考書は、最初の講義で紹介するが、原則として、講義資料を講師が作成して毎回、配布する。（希望者には、経済産業省、特許庁、文部科学省、文化庁の見学などを実施する予定。）</p>
--	---

Course Code	5111150	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	国際組織と法				
Faculties	森 肇志				
Course Objectives/Overview	<p>近年国際条約、とりわけ多数国間条約が数多く結ばれているが、これらのうち、条約により運営機関が設置されるものが多くみられ、条約体制と呼ばれるものが形成されている。それらは当該条約の適用・履行確保さらには発展という、国際法の実現において大きな役割を果たしている。また、こうした条約によるもの以外に、非拘束的合意（ソフトロー）によるものの重要性も増している。</p> <p>そうした条約等の多くは、それを実施するための国内法や国内裁判所による適用等を通じて、国内法平面においても、したがって国内実務家にとってもますます重要になってきている。</p> <p>本演習では、こうした条約体制（国際組織を含む）の構造ならびに実際の運用のあり方を、参加者のリサーチを中心に明らかにすることを通し、現代国際法の現実の姿の一端を明らかにする。具体的イメージとして、森肇志他『分野別国際条約ハンドブック』（有斐閣・2020年）、とりわけその「概論」を参照されたい。</p> <p>本演習は法科大学院との合併授業である。</p>				

Course Code	5111160	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	国際経済法				
Faculties	伊藤 一頼				
Course Objectives/Overview	<p>国境を越えた経済活動は絶えず加速しており、特に貿易・投資の分野においては明確な国際ルールの必要性が高いことから精緻な条約システムが構築されている。本講義では、貿易分野における世界貿易機関(WTO)、および投資分野における投資保護協定といった国際法制度を中心に、その歴史や規律内容の理解を目的とする。また、地域経済統合の進展や大国間の貿易摩擦など近年の新たな動向に</p>				

	ついても解説を加える。これらを通じて、現代の国際経済関係を法的な視点から読み解き、的確な分析を加えるための視点を獲得するとともに、国際経済法務に携わるうえで必要となる実践的な知識を身に付けることが目標である。実務家による講演も予定している。
--	--

Course Code	5111170	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	国際人権法				
Faculties	寺谷 広司				
Course Objectives/Overview	今日、人権は国際社会における最も中心的な関心の一つであり、日本でも法曹関係者を初め、多くの立法・行政機関関係者、民間団体が「国際人権」に関与するようになってきている。この授業では、人権の国際的保障の現状とあるべき姿について考察する。そのために、現行諸制度の仕組みと運用について理解を深めるのはもちろんのこと、背景となる歴史と理論、特に国際法理論との連続を重視して討論する。				

Course Code	5111210	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Introduction to Japanese Law				
Faculties	Carol Lawson				
Course Objectives/Overview	<p>This course will help students understand the fundamentals of law in contemporary Japan.</p> <p>Students will gain at least a foundational grasp of the origins of Japanese law, and the key concepts that shape it today, both in isolation and in their social context.</p> <p>Students will learn to consider core areas of Japanese law critically, discuss their perspectives with others, and draw on comparisons with other legal systems as needed.</p> <p>The course assumes no knowledge of Japanese law or law in general.</p>				

Course Code	5111220	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	法のパースペクティブ：国際的な法の発展と日本法				
Faculties	溜箭 将之				
Course Objectives/Overview	日本法と国際的な法の変容と展開が交錯する場面を取り上げ、国境と法分野をまたいだ具体的な法的問題を検討し議論する。法律家として、外国法と日本法とに等しく批判的視線を向け、同時に国際的な法秩序にも創造的な貢献をしてゆく姿勢を養うことを目標とする。				

Course Code	5112010	Term	A1A2	Credits	2
-------------	---------	------	------	---------	---

Course Title	政治学 I
Faculties	谷口 将紀
Course Objectives/Overview	政治学 I は、政治学の入門クラスです。広い意味での政治学関連科目を勉強した経験がない人、または政治学の基本を学び直したい人を対象に、一般教養としての政治学の学修を目標にします。基礎的な知識を習得するにとどまらず、その知識を用いて自分の意見を考え、表現し、また多様な見方を知ることを目指します。

Course Code	5112030	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	政治思想と公共政策				
Faculties	荏部 直				
Course Objectives/Overview	<p>政治思想上の諸問題は、政策を作り、運用する過程に、さまざまな形で深くかかわっている。これは、いわゆる「公務員倫理」（あるいは「政治倫理」？）といったような、決定者の心得にとどまるものではない。現場で直面する、個々の課題について選択を迫られるとき、結論に至る筋道は多くの場合、何がいったい「平等」か、人のいかなる「自由」を守るべきか、政府がなすことの限界をどうさだめるか、そもそも「政治」とはいったい何なのか.....といった、原理上の問いについて、当面する状況に適したアイデアを見いだす思考作業と切り離せないのである。</p> <p>この授業は、担当者の報告と、参加者全員の討論による、演習形式で行なう。授業時間は毎回延長する。研究者養成コースである大学院法学政治学研究科総合法政専攻と合併。</p>				

Course Code	5112040	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	政策分析				
Faculties	田邊 國昭				
Course Objectives/Overview	<p>政策分析は、決定者に対してどのような政策的な選択肢が存在するのかを示し、その効果やコスト等に関する情報を明らかにするものである。この授業においては、政府が社会経済に働きかける政策の様々な手段という側面を中心的な視点にして考察してゆく。</p> <p>まず、最初に現在のガバナンスの変容が政策手段の選択にどのような影響を与えているのか、その大きな動きについて論ずる。さらに、政策の様々な手段を評価し、判断する軸として、どのような観点が重要となるのかを議論する。次に、具体的な政策の事例を挙げながら、(1) 規制、補助金、直接供給等といった政府の用いる政策手段の基礎的なレパートリーにどのようなものがあるのか、また、(2) 個々の政策手段には、どのようなメリットとデメリットが存在するのか、さらに (3) 個々の政策手段が有効に機能する条件はどのようなものであるのか、について考察してゆきたい。この授業を通</p>				

	じて、政策的な課題に対応するための手段的な選択肢についての一定の見取り図を得、具体的な課題にそって具体的な手段を組み合わせ新たに構築してゆくための基礎的な能力を身につけることを目的とする。
--	--

Course Code	5112050	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	自治体行政学				
Faculties	金井 利之				
Course Objectives/Overview	<p>本講義では、現代日本の自治体行政に関して、様々な特徴について概説する。</p> <p>行政学各論として、行政学一般を自治体に適用する講義を行う。</p> <p>なお、行政学各論としての性格から、都市政治・自治体政治に関することは、基本的には本講義の対象外かもしれないが、政治行政の密接な関係から、重要な環境要因として解説する。また、自治体政府相互の関係、あるいは、自治体政府と全国政府の関係は、政府間関係論の領域かもしれないが、必要な範囲で、本講義でも言及することはある。</p>				

Course Code	5112060	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	公共管理論Ⅰ				
Faculties	金井 利之／尾西 雅博				
Course Objectives/Overview	<p>公共政策の形成、実施、評価は、主として行政機関による組織的活動である。組織活動を効果的に実施するためには、多数の要素から構成されている組織活動の適切な「管理」が不可欠である。この授業では、このような公共政策に関する管理を「公共管理」と捉え、その基本的な考え方について述べるとともに、行政組織について、「行政管理」のための資源と手法、病理、改革等の基本的事項について考察する。今年度も以前に引き続き、行政管理の中心的なテーマであるとともに「基盤行政」ともされてきた、人事管理及び公務員制度について、公務員制度改革にも焦点を当てながら講義を展開する。</p>				

Course Code	5112080	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	ポリティカル・メソドロジー				
Faculties	加藤 淳子				
Course Objectives/Overview	<p>政治学の方法論の基礎を身につけることを目的とする。比較の方法を中心に、基本的なゲーム理論・社会的選択理論を含む合理的選択理論、基本的な統計分析の考え方、歴史的アプローチを含む新制度論、実験の方法など、政治学における分析手法を幅広く取り扱う。</p>				

	これらの文献の多くは、海外の政治学博士課程プログラムでも読まれているものであり、この授業に参加することで、政治学の様々な方法を包括的に理解することができる。
--	--

Course Code	5112090	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	国際行政論				
Faculties	城山 英明				
Course Objectives/Overview	<p>国際行政とは国境を越えた相互依存にともなう諸課題を解決するための様々な組織的マネジメントである。多国間国際組織の活動のみならず、二国間等の調整活動やNGO等の活動も含まれる。国際組織と国、NGOといった組織間関係のマネジメントも1つの焦点である。国際行政は2つの特質を持つ。第1に国際行政の対象は多量かつ多様である。第2に国際行政活動は諸主権国家制という分権的な統治制度の下で行われる。本講義では以上のような基本的特質を持つ国際行政現象について、組織論、管理論（財政、人事等）、活動論の観点から行政学的に分析することを試みる。活動論に関しては、国際安全保障（国際刑事司法、科学技術と安全保障を含む）、国際援助、国際的規制調和等の具体的事例をとりあげる。</p>				

Course Code	5112101	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	国際政治経済 I				
Faculties	飯田 敬輔				
Course Objectives/Overview	<p>国際政治経済論は国際政治と国際経済は相互にどのように関係しているのかを理論的かつ体系的に解明することを目標とする。理論的枠組みとしては、現在の国際関係理論の主要理論であるリアリズム、リベラリズム、コンストラクティビズムを中心に考察する。応用分野としては、通商、通貨、金融、開発などのほか、環境問題も扱う。</p>				

Course Code	5112111	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Global Conflicts & Cooperation				
Faculties	ENDO Ken				
Course Objectives/Overview	<ul style="list-style-type: none"> - to grasp the concept/nature of globalisation and its governance - to understand the variety of global issues and conflicts involved in them - to explore the cooperative ways in which to mitigate/settle/solve those conflicts 				

Course Code	5112131	Term	A 1	Credits	2
Course Title	Science, Technology and Public Policy				

Faculties	SHIROYAMA/ALEMANNO/MATSUO/VERSPIEREN
Course Objectives/Overview	<p>The development and diffusion of science innovative technologies is indispensable for modern society. However, despite its benefits, the development of science and technology is not without various risks and social problems. So far as we are going to make societal decisions for the use of science and technologies with diverse social implications that encompass both risks and benefits, sometimes involving values implications, there is a need for mechanisms of decision making and management of the development and utilization of science and technology. Decisions can be different depending on environmental, institutional and cultural conditions. In addition, innovative policy instruments/ mechanisms to deal with rapidly changing science and technology, including regulatory measures, are required for implementing decisions.</p> <p>This course will deal with wide range of issues from local to global levels faced at the interface areas between science, technology and public policy from comparative perspective of Japan, the US and Europe. It offers key theoretical issues surrounding Science and Technology and provides students with the tools and frameworks, such as risk assessment/ management and transition management, to analyze them. This course invites students from both natural science backgrounds (i.e. the graduate school of engineering, new frontier science and so on) and social science backgrounds (graduate school of public policy, law and politics, and economics and public policy). We expect students to acquire interdisciplinary perspective in addition to their primary major, which is one of the critical skill in analyzing complex social technical issues posed by science and technology.</p>

Course Code	5112140	Term	A 1	Credits	2
Course Title	開発研究				
Faculties	佐藤 仁				
Course Objectives/Overview	<p>開発/発展という現象を歴史的、批判的な観点から検証し、あわせて研究手法の紹介も行う。とりわけ、開発援助における権力作用、国家とは何か、貧困への視点、技術の役割、援助の役割などを扱う。学生諸君が先入観としてもっている「開発」のイメージを揺さぶり、一段深い考察のレベルに誘導することが目標である。</p> <p>形式は、講義と演習を折衷した形をとり、課題文献の予習を前提として、学生が主体的に議論に参加する形をとる。よって「学ぶだけ」の学生は歓迎しない。考えたことを発信する意欲のある学生を歓迎する。課題文献の要約と批判を含めたミニ・レポートを3回課すが、この採点は、学生同士で行う。また、教室では、議論の喚起を目的とした簡潔な報告をする訓練を行い、対話する上でのコミュニケーション能力養成も視野にいれる。英語を中心に一定量の文献を毎週読んでもらうが標準的に4時間程度の予習時間が確保できそうもない人には受講をすすめない。</p> <p>具体的なスケジュールや課題文献リストについては初回の授業でシラバスを配布したうえで解説するので、受講希望者は必ず初回の授業に出席してほしい。</p>				

Course Code	5112150	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	政策過程論				
Faculties	田邊 國昭				
Course Objectives/Overview	政策の決定・実施・評価の一連のプロセスについて検討する。政策過程の政策課題の認識、課題設定、具体案の作成、意思決定(行政部内、議会)、モニタリング・評価の各段階において、どのような要因が影響するのか等に関する見取り図を与えることを意図する。また、各々の段階で配慮すべき事項についても、具体的事例を素材に検討する。				

Course Code	5112170	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	現代日本政治				
Faculties	谷口 将紀				
Course Objectives/Overview	<ul style="list-style-type: none"> ・現代日本政治の主要なトピックスのうち、いくつかを選んで、さまざまなアプローチ（政治理論、政治史、計量政治学、数理政治学など）を用いて分析します。 ・本授業は、法学部第7学期・大学院修士科目配当科目です。日本政治入門ではありません。ただし、本学法学部以外から公共政策大学院に進学した人、「日本政治」未履修の法学部生のために、本学法学部の「政治学」「日本政治」と、あえて内容を重複させる部分があります。 				

Course Code	5112181	Term	集中	Credits	2
Course Title	Modern Japanese Diplomacy				
Faculties	LIPSY Phillip				
Course Objectives/Overview	This course introduces students to the contemporary international relations of Japan. The foreign policymaking of Japan will be placed in broader context through reference to general theories of international relations, social scientific methods of causal inference, and relevant contemporary policy issues. The course will be conducted entirely in English.				

Course Code	5112191	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Policy Process and Negotiation				
Faculties	AOKI Naomi				
Course Objectives/Overview	This course aims to enhance students' understanding of public policy processes. The class format combines lectures and case discussions. The lectures cover theories and empirical research findings, as well as real-world examples, and				

	<p>the treatment of topics is comparative and international in scope; this approach helps students to look at their own countries from an outside perspective and to see their distinctiveness. Students are asked to critically evaluate trade-offs involved in policy processes, which can vary considerably, especially at the international level. A comparative approach comes at the expense of in-depth analyses of single national or local cases – a gap students are encouraged to fill when they write reflection essays. Given the lecturer’s background, the course will be taught mostly from a public administration perspective, with some interdisciplinary influences.</p>
--	--

Course Code	5112195	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Field Seminar in International Relations				
Faculties	HENG Yee Kuang / AOI Chiyuki				
Course Objectives/Overview	<p>This course provides an overview of the key issues and theories of global and international affairs. Introductory sessions will cover core theories as well as integrating concepts to help understand International Relations as a complex interplay between power and interests, cooperation and discord; institutions and norms, and diverse actors. Subsequent weeks will apply these concepts to selected issue areas including security and war; peacekeeping and humanitarian intervention; outer space, and global public goods such as climate change and global health.</p> <p>It is anticipated that students will develop a deeper and more nuanced understanding of the complexities of the international system in the 21st century. Through prescribed academic writings, students are directed to the linkage between emerging global events and to think critically about how the global agenda of the new millennium will be shaped by drivers such as globalisation, cooperation and discord, and major power transitions.</p> <p>The following outcomes are emphasized:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. An ability to approach both theoretical debates and foreign policy outcomes with diverse analytical tools 2. The ability to collate and evaluate arguments from different sources and perspectives 3. The ability to formulate and articulate views coherently in written and oral forms 4. Critical thinking, analytical and reading skills 				

Course Code	5112211	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Comparative Analysis of Japanese Economic Policy-Making Process				
Faculties	HAYASHI Ryoza				
Course Objectives/Overview	<p>The objective of this course is to understand Japanese economic policy-making process from comparative perspective through the analysis of post-war economic development including Abenomics.</p> <p>While policymaking process is essentially determined by the interaction of history, national value system and institution, economic policy is heavily influenced by the coalition of legislator, relevant executive officials and interest groups with some participation of public. After walking through the establishment of basic structure at Meiji Restoration and major modification, we will compare Japanese system with</p>				

	<p>other major economies including US and UK. Student will be expected to make short presentation. Class will be conducted in English. Students are encouraged to actively participate in the class.</p>
--	--

Course Code	5112220	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Governance and Development				
Faculties	MOTODA Yuka				
Course Objectives/Overview	<p>The objectives of the course are: 1) to give students a historical understanding of the context of the rise and fall of major development theories on which donors have based their aid policies; 2) to deal with the ways in which current international development cooperation takes place in the areas at issue - with the primary focus being placed on 'governance' amongst them; 3) to provide a critical assessment of the ways in which the concept of 'governance' and the role of state are framed through international development discourse in general and development aid in particular.</p> <p>By the end of the course, students will be able to understand firstly why a certain theory was emerged at a certain point of history and why it was adopted by donors, and how it was turned into their aid policies. Secondly, students will deepen their understandings of the impact of implemented aid policies on recipient states' governments and societies at large - i.e. the governance of recipient states. Thirdly, students will be able to follow up emergent 'unorthodoxies' that challenge the dominant discourse on governance and development in the international aid industry.</p>				

Course Code	5112241	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Politics and Public Policy				
Faculties	MAEDA Kentaro				
Course Objectives/Overview	<p>This course is a graduate-level introduction to political science. Students will become familiarized with the major concepts and theories in the discipline through topics such as the state, democracy, political parties, and elections. In addition, the course will cover public policy issues such as economic policy and foreign policy.</p> <p>However, this course is more than just an introduction. For the academic discipline known today as "political science" in the English-speaking world is a body of knowledge that originated in ancient Greece, passed through modern Europe, and developed in the United States in the 20th century. Theories that claim to be universally applicable are in fact deeply rooted in the Western societies.</p> <p>Therefore, this course aims to rethink political science in a non-Western context. What does the history of Japan tell us about theories that are based on the historical experiences of Britain or Germany? Is there a distinctively East Asian perspective on politics? What are the problems of applying theories to countries that lack the economic or cultural conditions that originated them? By addressing these questions through a close reading of the major texts, this course explores a more inclusive way of thinking about politics.</p>				

Course Code	5112242-4	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	東北アジア広域史におけるロシア、ソ連				
Faculties	松里 公孝				
Course Objectives/Overview	<p>①かつて東北アジア史は、日本史、東洋史、西洋史（ロシア極東）に分断され、語学障壁もあって広域史としての研究があまりなされなかったが、この状況が変わりつつある。</p> <p>②ロシアが東北アジア史に参入するのはアイゲン条約（1858）以降であり、研究史においては「あまり重要でない新参者」程度の位置づけであったが、これは日本史や中国史の専門家でロシア語を読める人が少ないという事情があったからと考えられる。たとえば、西郷隆盛がロシアによるウラジオストク建設に脅威認識をもって征韓論を唱えたといった事実は知られていない。</p>				

Course Code	5112243-4	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	凍結された紛争の再燃：第2次カラバフ戦争と国際関係				
Faculties	松里 公孝				
Course Objectives/Overview	<p>ソ連末期から1990年代前半にかけて、旧・連邦構成共和国と、それに従属していた自治単位の間で分離紛争が起こった。カラバフ戦争、南オセチア戦争、アブハジア戦争、沿ドニエストル紛争である。このうち沿ドニエストル紛争を除いて、2回目の戦争を経験した。ドンバス戦争も2回目が始まった。分離紛争では、なぜ、停戦を終戦に転化することが難しいのか。2回目の戦争が起きる傾向があるのはなぜか。この問いを入り口として、分離紛争について比較考察する。</p>				

Course Code	5112250	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Introduction to Social Science				
Faculties	ORSI Roberto				
Course Objectives/Overview	<p>At the end of the course, the student should have familiarised with the key concepts informing epistemological and methodological debates in social science, such as hypothesis, theory, falsification, verification, covering law, causality, with particular consideration for positivistic paradigms and anti- or post-positivistic reactions.</p> <p>The student should be aware of the specific difficulties of social scientific disciplines in studying human societies arising from the problematic separation between the studied object and the studying subject, and the link between social science and the political dimension.</p> <p>He should familiarise with problems of social research design, starting from the specificities characterizing the various stages of social science research.</p> <p>The student should become aware of the functional classification of social science</p>				

	<p>methods in qualitative and quantitative, familiarising with a number of techniques in both domains, while grasping that contemporary social research increasingly requires the application of different methods and interdisciplinary approaches, which also lead to the necessity of teamwork coordination.</p> <p>The course also aims at providing a large variety of examples where the concepts and principles described above find their application and didactical clarification. Those examples will focus in particular on the study of technology and its social impact.</p> <p>Finally, the student should become aware of the moral implications, limits and rules informing social science research, as well as of the role and importance of effective communication in the social sciences.</p>
--	---

Course Code	5112260	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Introduction to International Politics				
Faculties	ORSI Roberto				
Course Objectives/Overview	<p>At the end of this course, the student should have familiarised with a series of ongoing discussions concerning the nature of international politics, both in its theoretical articulation and in its several sectorial dimensions. International political theory will be introduced through an analysis of the major schools of thoughts providing a definition of what international politics is about (ontology) and how it is supposed to be studied (epistemology). For this initial part (Lectures 1-7), the students will become familiar with the concepts of realism, Realpolitik, anarchy, power, national interest, zero-sum-game, relative vs. absolute gain, polarity, globalisation, sphere of influence, intervention, human rights, emancipation. A second group of four lectures introduces specific sub-disciplines and study fields in international politics, dealing with geopolitics, international political economy, international organisation, and international environmental issues. Student will become acquainted with the influence that geography exercises on the life of political communities, and how much of international political debates and struggles revolve around the position of a certain state within the economic architecture of the globe. International organisations will be illustrated as the key component of a highly interconnected world in need of governance structures, however tenuous. A strong emphasis will be put on environmental questions, particularly climate change, and the student will familiarise with the specific difficulties characterising environment protection in a globalised world with high levels of resource competition.</p>				

Course Code	5112265	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Introduction to Public Management				
Faculties	AOKI Naomi				
Course Objectives/Overview	<p>This course aims to introduce selected topics of public management research and reform discourse. It is designed to serve students who aspire to work for a public organization or to become informed citizens who can critically assess the functioning of their government organizations. The lectures cover theories and empirical research findings, as well as real-world examples, and the treatment of topics is comparative and international in scope; this approach helps students to</p>				

	look at their own countries from an outside perspective and to see their distinctiveness. It also helps students to see trade-offs involved in different approaches to public management, which can differ substantially at the international level. Discussions are based on cases and questions prepared by the instructor.
--	---

Course Code	5113007	Term	S 1	Credits	2
Course Title	Principles of Microeconomics				
Faculties	OGAWA Hikaru				
Course Objectives/Overview	This course covers the introductory microeconomics to students who are not majoring in Economics. It provides key concepts, economic ideas, and a framework for learning about microeconomics. The course places primary emphasis on the role of market, and then analyzes the role of government in the market.				

Course Code	5113009	Term	S 2	Credits	2
Course Title	Principles of Macroeconomics				
Faculties	YOSHINO Naoyuki				
Course Objectives/Overview	TBD				

Course Code	5113016	Term	A1A2	Credits	4
Course Title	Microeconomics for Public Policy				
Faculties	IIZUKA Toshiaki				
Course Objectives/Overview	This is an introductory course in microeconomics, which covers the fundamental theories of the consumer, the firm, and markets. Emphasis will be on applying these theories to understanding and evaluating real world events so that the student learns to think like an economist. It assumes no prior knowledge of economics, and some of high school level mathematics and graph based reasoning will be used.				

Course Code	5113017	Term	A1A2	Credits	1
Course Title	Practice Session for Microeconomics for Public Policy				
Faculties	IIZUKA Toshiaki				
Course Objectives/Overview	Under the supervision of Prof. Iizuka, the TA will go over some lecture materials, problem sets and homework materials.				

Course Code	5113018	Term	S1S2	Credits	4
Course Title	Macroeconomics for Public Policy				

Faculties	NIREI Makoto
Course Objectives/Overview	This course introduces the basic concepts of macroeconomics, which provides standard framework and statistics used in macroeconomic policy debates. Students will learn the systematic method toward understanding of markets and why markets sometimes fail to achieve full employment or economic growth. The goal of this course is to prepare students to read the literature on macroeconomic policy debates by themselves. This course will provide the basis for further studies in such fields as monetary economics and policy, economic growth and development, public finance and social securities, banking and finance, and international trade and finance.

Course Code	5113019	Term	S1S2	Credits	1
Course Title	Practice Session for Macroeconomics for Public Policy				
Faculties	NIREI Makoto				
Course Objectives/Overview	Practice Session for Macroeconomics provides discussion series that complement Macroeconomics for Public Policy (5113018).				

Course Code	5113021	Term	S1S2	Credits	4
Course Title	Microeconomics				
Faculties	WATANABE Yasutora				
Course Objectives/Overview	<p>The purpose of this course is to develop understandings of microeconomic analysis. We study how economic agents, such as consumers and firms, make choices, how the choice of the economic agents results in market outcomes, and how it affects the welfare of the consumers and the profits of the firms. Given that this course is offered in the graduate school of public policy, we pay more attention to the policy implication of the analysis.</p> <p>The first half of the course will cover the standard price theory. After covering the partial equilibrium analysis, we dig deeper into consumer behavior and producer behavior, and then equilibrium under monopoly and competitive market. In the second half of the course, we cover strategic interaction (game theory), externalities, public goods, models of imperfect competition, asymmetric information, and other related topics.</p>				

Course Code	5113031	Term	S1S2	Credits	1
Course Title	Practice Session for Microeconomics				
Faculties	WATANABE Yasutora				
Course Objectives/Overview	<p>The purpose of this course is to develop understandings of microeconomic analysis. We study how economic agents, such as consumers and firms, make choices, how the choice of the economic agents results in market outcomes, and how it affects the welfare of the consumers and the profits of the firms. Given that this course is offered in the graduate school of public policy, we pay more attention to</p>				

	<p>the policy implication of the analysis.</p> <p>The first half of the course will cover the standard price theory. After covering the partial equilibrium analysis, we dig deeper into consumer behavior and producer behavior, and then equilibrium under monopoly and competitive market. In the second half of the course, we cover strategic interaction (game theory), externalities, public goods, models of imperfect competition, asymmetric information, and other related topics.</p>
--	---

Course Code	5113041	Term	A1A2	Credits	4
Course Title	Macroeconomics				
Faculties	NAKATA Taisuke				
Course Objectives/Overview	Learn basic tools of macroeconomics				

Course Code	5113051	Term	A1A2	Credits	1
Course Title	Practice Session for Macroeconomics				
Faculties	NAKATA Taisuke				
Course Objectives/Overview	To assist students learn the materials covered in "Macroeconomics."				

Course Code	5113060	Term	S1S2	Credits	4
Course Title	統計分析手法				
Faculties	陣内 悠介				
Course Objectives/Overview	統計学の基礎理論を習得し、データ分析のスキルを身に付けること。				

Course Code	5113061	Term	A1A2	Credits	4
Course Title	Statistical Methods				
Faculties	SHIGEOKA Hitoshi				
Course Objectives/Overview	<p>This is an introductory course in statistics and econometrics. The objective of the course is to make students become familiar with how to use and interpret basic descriptive statistics, probability distributions, point and interval estimations, hypothesis testing, forecasting, and simple regression analysis. The course will focus on concepts and practice needed for understanding the existing empirical studies as well as for carrying out their own empirical works in economics. Students will learn how to apply the methods presented in class to real dataset through computer exercises using the econometric software (mainly STATA or R).</p>				

Course Code	5113065	Term	A1A2	Credits	1
Course Title	Practice Session for Statistical Methods				
Faculties	SHIGEOKA Hitoshi				
Course Objectives/Overview	This is a practice session that complements Statistical Methods (5113061).				

Course Code	5113074	Term	S1S2	Credits	4
Course Title	Econometrics for Public Policy				
Faculties	KAWAGUCHI Daiji				
Course Objectives/Overview	This course introduces basic econometrics that is indispensable to evaluate the effectiveness of public policies.				

Course Code	5113075	Term	A1A2	Credits	4
Course Title	Econometrics for Public Policy				
Faculties	CHEN Stacey				
Course Objectives/Overview	This course introduces contemporary methods for empirical studies and demonstrates how to apply those methods to data and interpret estimation results.				

Course Code	5113084	Term	S1S2	Credits	1
Course Title	Practice Session for Econometrics for Public Policy				
Faculties	KAWAGUCHI Daiji				
Course Objectives/Overview	This course is a companions course of Econometrics for Public Policy. This practice session guides you how to implement econometric methods introduced in the lecture using statistical package software.				

Course Code	5113085	Term	A1A2	Credits	1
Course Title	Practice Session for Econometrics for Public Policy				
Faculties	CHEN Stacey				
Course Objectives/Overview	This course is a companion course of Econometrics for Public Policy. This practice session guides students on implementing econometric methods introduced in the lecture using R, a statistical package software.				

Course Code	5113090	Term	A1A2	Credits	4
-------------	---------	------	------	---------	---

Course Title	公共政策の経済評価
Faculties	岩本 康志／鎌江 伊三夫
Course Objectives/Overview	<p>政策形成をより合理的なものに改善していくためには、政策分析の質的向上が必要である。</p> <p>なかでも、政策の効果を経済学的に分析することは、その結果を肯定するにせよ、否定するにせよ、政策形成上必須であろう。しかし、これまで、政策の効果を経済学的に分析することは日本の政策現場では伝統的に軽視されてきた。</p> <p>本科目の主要な目標は、以下の2つである。1つは、費用便益分析の標準的な教科書に基づいて費用便益分析の全体像を習得することである。もう1つは、費用便益分析の知識を理解するには現実の事象への応用が不可欠という観点に立ち、受講者がグループに分かれ、社会資本投資、市場設計、規制評価等、自ら選んだ事例について費用便益分析を行うことである。</p> <p>なお、ミクロ経済学、マクロ経済学及び統計学の素養が前提となるが、高度な経済学的分析を追求するものではなく、前提とする水準は「Principles of Microeconomics」及び「統計分析手法」程度である。</p>

Course Code	5113100	Term	A1A2	Credits	1
Course Title	公共政策の経済評価実習				
Faculties	岩本 康志				
Course Objectives/Overview	「公共政策の経済評価」の理解を深めるため、演習問題や、費用便益分析を現実に適用するための実習を行う。				

Course Code	5113152	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	International Trade Policy				
Faculties	KUCHERYAVYY Konstantin				
Course Objectives/Overview	<p>This is an introductory class to International Trade. In the class we will address the main issues associated with international trade:</p> <ul style="list-style-type: none"> - Is free trade beneficial to countries? - What are the potential consequences of trade liberalization? - What are the ways trade can improve country's welfare? - How does trade impact income inequality? - Who are the winners and losers from trade? - What are the right trade policies? <p>While answering these questions, we will cover some of the main theories of international trade: Ricardian, Heckscher–Ohlin, Krugman, and Melitz models. The focus will be in understanding these theories on the conceptual level, rather than going into in-depth mathematical details of these models.</p>				

Course Code	5113161	Term	A 1	Credits	2
-------------	---------	------	-----	---------	---

Course Title	International Financial Policy
Faculties	UEDA Kenichi、KUCHERYAVYY Konstantin
Course Objectives/Overview	Understand objectives and effects of key policies in international finance from both theoretical and empirical perspectives. In particular, this course focuses on a fundamental question: How does, and should, the international financial system play roles in two important macroeconomic phenomena, i.e., business cycle and economic growth? In addition, this course covers frequently discussed recent policy issues such as monetary union, international reserve, and spillovers of macroeconomic policies to other countries.

Course Code	5113180	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Development Economics: Microeconomic Approach				
Faculties	TAKASAKI Yoshito				
Course Objectives/Overview	The objective of this course is to understand the basic concepts and methods of development microeconomics. It is designed for a wide range of students who are interested in international development. It covers development, poverty, inequality, vulnerability, program evaluation, demography, health, education, labor, migration, social protection, and finance. This lecture course is offered in English.				

Course Code	5113190	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Development Economics: Macroeconomic Approach				
Faculties	UEDA Kenichi				
Course Objectives/Overview	Understand key policy issues in macro development from both theoretical and empirical perspectives. First, students are expected to build theoretical foundations through neo-classical growth theory and the new growth theory. Second, students are expected to build empirical foundations through key data analyses for the catch-up process of developing countries. Third, students are expected to recognize various barriers for economic development, effects of removing barriers in the development process (of now advanced countries), and policy implications from the related studies. In addition, students are expected to find that key barriers lie in the financial system and the labor markets as well as in the social institutions (e.g., family and gender issues).				

Course Code	5113240	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Economic Analysis of Public Sector				
Faculties	OGAWA Hikaru				
Course Objectives/Overview	This course covers the fundamentals of economic analysis of public sector ("public economics"). Specifically, it provides an overview of the key theorem, hypothesis, and the concept in micro- and macroeconomic public policy analyses. Particular emphasis is directed at developing tools that can be applied theoretically				

	to clarify essential economic concerns in the current public sector. Such concerns include the social welfare and equality, externality, public goods, taxation, rent-seeking, public debt, and fiscal sustainability.
--	--

Course Code	5113245	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Essential Academic Skills				
Faculties	LOU Yichuan				
Course Objectives/Overview	On the completion of this course the student will demonstrate the ability to (1) independently research, structure, and write an economics-related text that respects the conventions of academic writing (2) prepare and give an oral presentation clearly and communicate effectively				